



立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39th Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>



ニュースレター2021年 7月号

皆様こんにちは！いかがお過ごしでしょうか？

アメリカでは各地でワクチンの接種が進み、その効果が少しずつ生活の中に出てきています。バイデン大統領はG7サミットの中で世界の途上国に向け大量のワクチンを無償・無条件で提供をする約束を発表しました。自国のみの回復ではなく世界中がコロナ感染から抜け出さねば真の解決にならないとの大きな心からのものです。

とは言えまだ多くの方たちが命をおとされ、病床に臥される方、自宅で療養される方たちも数多くいらっしゃいます。このコロナ禍で亡くなられた方々のご冥福と、現在加療・療養中の皆様の早期回復を心よりお祈り申し上げます。

そして、日々休みなく取り組んで下さっている医療関係の皆様、私たちの生活基盤を支えて下さっている行政機関、ソーシャルワーカーの皆様に対し心からの感謝を申し上げます。

さて、会長先生は6月朔日参りのご法話で読書はこころの栄養と述べられ、読書を通じて感動をしたり知識を深めたりしてこころが豊かに育まれてゆくと、このコロナ禍で自粛生活を有意義に過ごすありかたのひとつをお教えてくださいました。さらに儒教の話に触れ、人間は生まれながらに「徳性」を持っているが成長するにしたがい忘れてしまう。しかし君主(国を治める人)はそれを忘れることなく保ち続けている。その徳性とは、明るさ、清らかさ、愛する心、助ける心、つくす心、恩を知る心、正直、勇気、忍耐ということです。これは私たちが学ぶ「仏性」にも通じる話です。

そこで今月は仏教徒としてどう毎日を過ごせばよいかについてお話したいと思います。

お釈迦様のご入滅を前にした弟子アーナンダは不安な気持ちからお釈迦様にお伺いします。

これから私たちはだれを(何を)頼りに生きてゆけばよいのでしょうかとの問いにお釈迦様はこうお答えになりました。「他の人に依存をしたり、他の人の視線を気にするのではなく一人の人間として自らをよりどころとして歩みなさい。そして法(真理)をよりどころとして歩みなさい。」と言うお言葉でした。

これは「自燈明、法燈明」といわれる一節で、他に迎合したり、依存することなく自らが法(ダルマ)に目覚め、それをよりどころとするところに人間としての自立と尊厳があるということです。法(ダルマ)とは「真理」、「道徳」、「法則」と言った意味があります。

しかし自らをよりどころと言っても我見や偏見にあふれた自らではなく、教えによって目覚めた真の自己を指すのであって、そのためにはあくまでも物事を教えに照らし合わせてゆくことが大切で、それが「法」をよりどころとする事につながるものです。

自信と言う言葉は自らを信ずるという意味ですが、信ずるに足る自分になる努力が大切です。

仏教は「彼岸に至る教え」といわれますが、それは世間的常識の尺度の世界(此岸)から離れ仏様のものの見方の尺度(彼岸)を目指すところに私たちの修行があります。

損得中心、自己中心、といった欲の世界から離れ仏様の智慧と慈悲の世界を目指し皆で川を渡ろうと決意し努力するのが仏道を歩むこととなります。

私たちは在家仏教徒として現実の世界で生活をしています。そこには様々な考え方や、価値判断があります。物質中心、利益優先的な損得中心、利己主義といった世界に巻き込まれいつしか自分もその中で一緒に走っていないと一人よりのこされてしまうような錯覚にとらわれてしまいます。その中で一喜一憂し苦しみ悶えているのが現実世界とも言えます。

仏教はこうした世間的な常識、世間的な尺度(此岸:こちら側の岸)から離れ、お釈迦様のものの見方、お釈迦様の尺度で見る世界(彼岸;向こう側の岸)に渡ろうと目指す教えです。

それはある意味で大きな価値転換になり、今までこれで良いと思っていたことを切り替える勇気と努力が必要です。それは本当の幸せ、本当の人生を歩むこととなりきとお釈迦様はそのことを彼岸からじっと待ち受けて下さっていることと思います。

毎日の生活を通じ、こうした心を大切に今月も精進させていただきます。

* COVID19により昨年4月からNY、シカゴ、フォートマイヤーのセンターがクローズされていますが、事態が少しずつ好転しつつある中どのように再開するかNY教会の理事会で話し合われました。本部の方針として閉鎖は迅速に、再開はゆっくりとありますので、再開は9月上旬をめどに段階的にオープンしてゆく予定です。各センターの州の方針にも留意しながら、いきなり100パーセントではなく状況を見ながら徐々に再開を目指したいと思います。

* これまでZOOMでの活動が充実してきていますので、直接皆が会える場面、遠隔の皆さんも参加できる場面など今後工夫してさらなるサンガの結束を図りたいと思います。

* あわせて、来年はNY教会発足40周年を迎えます。どのように周年を迎えお祝いできるかその準備として今後数名によるタスクフォースチームを立ち上げ企画したいと思います。



合掌

RKNY 畠山友利